

RITA JUKU MIYAZAKI

第4期 定 時 総 会

開 催 日 2024 年 3 月 12 日 (火)

会 場 ニューウェルシティ宮崎

第1部 総会:2階「雲海」

■17:00～17:30 DVD 視聴

塾長講話「思いは必ず実現する」

<2014 年 9 月 4 日 盛和塾第 22 回世界大会>

■17:30～17:50 当塾ホームページの紹介

新規開設・運用開始にあたっての説明と質疑応答

■17:50～18:20 第4期定時総会

(オブザーバー参加の皆様もご臨席ください)

第2部 会食懇談会:1階「アンジェラス」

■18:30 開会挨拶・乾杯

◇各種報告・連絡／新入塾生の紹介

◇機関誌マラソン第4グループ経過報告

◇「イノベーション教育学会」宮崎開催のご案内

◇塾生企業近況報告／話題提供

■20:30 閉会挨拶

◇記念撮影

◇「ふるさと」唱和／締め

■21:00 解散

定刻 21 時解散の時間厳守となっておりますので、
速やかな進行へのご協力を宜しくお願い致します。

出席者

<氏名50音順>

NO	氏名	会社名	役職名
1	明石 太暢	明石酒造(株)	常務取締役
2	有田 知永	(株)アイロード	塾生企業役職員
3	江夏 祥一郎	江夏石油(株)	代表取締役社長
4	江夏 拓三	霧島ホールディングス(株)	代表取締役専務
5	江夏 徳次郎	BTV(株)	代表取締役専務
6	大石 有香	霧島ホールディングス(株)	塾生企業役職員
7	大山 憲一郎	大山食品(株)	代表取締役
8	小川 裕介	(株)新海屋	代表取締役
9	神崎 雄一郎	神崎建設工業(株)	代表取締役社長
10	木村 健一	木村産業(株)	代表取締役社長
11	黒川 浩之	(株)九南	代表取締役社長
12	桑水流 優	JUJUトラベル	塾生企業役職員
13	児島 瑞基	霧島ホールディングス(株)	塾生企業役職員
14	児玉 寛太郎	大和物産(株)	代表取締役社長
15	椎葉 数恵	ローゼ	代表
16	田内 孝司	TANO経営支援コンサルタンツ	代表取締役
17	津曲 慎哉	えびの電子工業(株)	代表取締役社長
18	寺師 博文	インフラテック(株)宮崎営業所	執行役員第二営業部長
19	長沼 幸司	神崎建設工業(株)	塾生企業役職員
20	中村 吉寛	(有)都城金海堂	代表取締役社長
21	西田 俊明	(株)アルファ	代表取締役
22	野村 昌宏	BTV(株)	塾生企業役職員
23	浜田 晃子	(有)ボヌール	取締役
24	福岡 実恵	日本航空(株)宮崎支店	支店長
25	福永 栄子	(株)アイロード／(株)アイロード・プラス	代表取締役
26	藤川 寿治	宮崎県防犯協会連合会	専務理事
27	松葉 啓介	合同会社 JUJU／JUJUトラベル	代表
28	榎木 寛明	榎巧房	代表
29	森川 護	BTV(株)	社長室長
30	森山 福一	(一財)宮崎県建築住宅センター	理事長
31	安富 健二	BTV(株)	地域統括プロデューサー
32	谷田 貝孝	宮崎大学地域資源創生学部	教授

第4期定時総会 定足数確認

<氏名50音順>

NO	氏 名	会 社 名	役 職 名	総 会	委任状	塾役職
1	明 石 太 暢	明石酒造(株)	常務取締役	○	-	
2	池 田 宜 永	都城市役所	市長	×	○	
3	井 手 裕 生	(株)パナケイア	代表取締役	×	○	
4	内 栞 保 雄 司 郎	(株)内栞保住建	代表取締役社長	×	○	
5	江 夏 俊 太 郎	江夏商事(株)	代表取締役会長	×	○	
6	江 夏 祥 一 郎	江夏石油(株)	代表取締役社長	○	-	世 話 人
7	江 夏 拓 三	霧島ホールディングス(株)	代表取締役専務	○	-	会 長
8	江 夏 徳 次 郎	BTV(株)	代表取締役専務	○	-	代表世話人
9	大 山 憲 一 郎	大山食品(株)	代表取締役	○	-	代表世話人
10	大 山 綾 夏	大山食品(株)	海外営業リーダー	×	○	
11	小 川 裕 介	(株)新海屋	代表取締役	○	-	代表世話人
12	神 崎 義 世	神崎建設工業(株)	会長	×		顧 問
13	神 崎 雄 一 郎	神崎建設工業(株)	代表取締役社長	○	-	世 話 人
14	木 村 健 一	木村産業(株)	代表取締役社長	○	-	顧 問
15	朽 木 充 嗣	(株)くちき	会長	×	○	
16	黒 川 浩 之	(株)九南	代表取締役社長	○	-	
17	黒 木 繁 人	旭建設(株)	代表取締役社長	×	○	
18	児 玉 寛 太 郎	大和物産(株)	代表取締役社長	○	-	世話人(監事)
19	坂 元 丞	霧島燃料(株)	代表取締役	×	○	
20	椎 葉 数 恵	ローゼ	代表	○	-	
21	高 嶺 清 哲	(株)高嶺木材	代表取締役	×		
22	田 内 孝 司	TANO経営支援コンサルタンツ	代表取締役	○	-	
23	津 曲 慎 哉	えびの電子工業(株)	代表取締役社長	○	-	
24	寺 師 博 文	インフラテック(株)宮崎営業所	執行役員第二営業部長	○	-	
25	徳 永 達 彦	合名会社 徳永商店	代表社員	×	○	世 話 人
26	富 永 正 久	牛商丑力(株)	代表取締役牧場主	×		
27	中 村 吉 寛	(有)都城金海堂	代表取締役社長	○	-	世話人(監事)
28	永 山 幸 弘	(株)ながやま	代表取締役社長	×		
29	西 田 俊 明	(株)アルファ	代表取締役	○	-	
30	橋 口 徹	大和証券(株)宮崎支店	支店長	×	○	
31	浜 田 晃 子	(有)ボヌール	取締役	○	-	
32	原 田 祐 一	(有)原田	代表取締役			
33	福 岡 実 恵	日本航空(株)宮崎支店	支店長	○	-	
34	福 永 栄 子	(株)アイロード/(株)アイロード・プラス	代表取締役	○	-	
35	松 葉 啓 介	合同会社 JUJU/JUJUトラベル	代表	○	-	
36	靱 木 寛 明	靱巧房	代表	○	-	
37	森 川 護	BTV(株)	社長室長	○	-	事務局長
38	森 山 福 一	(一財)宮崎県建築住宅センター	理事長	○	-	
39	安 富 健 二	BTV(株)	地域統括プロデューサー	○	-	

充足率 = (総会出席塾生数 + 委任状提出数) / 塾生数 (39) 24 10 87%

「RITA JUKU MIYAZAKI」第4期定時総会

式次第

1 開会挨拶

2 定足数の確認

3 議長選任

4 議 事

第1号議案 2023年度事業報告並びに収支決算(案)承認の件

第2号議案 2024年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件

第3号議案 2024年度役員構成(案)承認の件

その他

5 報告事項

6 閉会挨拶

2023年度事業報告

2023年1月1日～12月31日

【RITA塾設立から第3期までの経緯】

第1期の2020年度は、7月21日に宮崎観光ホテルに於いて「RITA JUKU MIYAZAKI」設立総会を開催し、2020年7月1日～12月31日の半年間でスタートしたものの、2020年1月に国内で初めて発生した新型コロナウイルスにおける第2波の影響により年度内は定時総会を含め11月10日と12月8日(忘年例会)の例会の3回のみ開催となりました。

第2期の2021年度も年頭から宮崎県緊急事態宣言が発令され、2月7日に宣言終了となり、警報レベルが「4」から「3」に引き下げられたものの、引き続き県内全域が3月7日までを目途に「感染警戒区域」に指定され、例会開催がままならない状態が続きました。その後、感染拡大状況が落ち着いたことから期限短縮措置があり、漸く3月9日に2021年度最初の会合として第2期定時総会開催の運びに至りました。ただし、その後もコロナが沈静化することなく、5/20九州沖縄ブロック選考会<福岡市>、9/22KCCS(京セラコミュニケーションシステム)フォーラム<京都市>、10/18世界大会<京都市>の何れもオンライン(ZOOM)限定開催となり、当塾例会も3/9定時総会<ホテルメリージュ>、7/27例会<宮崎観光ホテル>、10/12例会<霧の蔵ブルワリー>、12/7忘年例会<JALシティ宮崎>の4回のみ開催に終わりました。なお、7/12に機関誌マラソン第3グループ完走祝賀会を宮崎市内の「なぶら」にて開催し、完走者4名(明石リーダー・高嶺・松葉・安富)と世話人6名が参加しております。

第3期の2022年度は、パンデミック下にあつて2月24日のロシアによるウクライナ侵攻により世界中に緊張感が高まる中での幕開けとなりましたが、3/15定時総会<宮崎観光ホテル>に続き、4/8には機関誌マラソン第4グループ(森山福一リーダー以下、再挑戦者を含む7名)がスタートしております。その後、4/27九州・沖縄地区ブロック選考会(熊本市:大山憲一郎塾生が宮崎を代表して経営体験発表)、4/28例会<ホテルJALシティ宮崎>と続きましたが、コロナ感染拡大のため(8/11には宮崎県医療非常事態宣言発令)、それ以降に予定していた例会は中止しております。そのさなか、「8月24日(水)午前8時25分 稲盛和夫氏 京都市内自宅にて逝去:享年90歳」の報が伝わり、9月例会として“ありがとうございました 稲盛塾長”「盛和塾での学びを語り、稲盛塾長を偲ぶ」<9/6ホテルメリージュ>を執り行いました。これに続く9/21第2回「心を高め経営を伸ばす世界大会」(国立京都国際会館)<京都市宝ヶ池>においても稲盛塾長を偲ぶ催しが行われ、その様子が全国へ報道されております。その後の10/14都城例会<霧島ファクトリーガーデン>では、元稲盛財団事務局長の忽那武範氏に塾長の回顧談を語っていただき、また、津曲塾生に「会社も従業員も家族もハッピーになる!男性“育救”のススメ」と題して塾生講話をしていただきました。【※】えびの電子工業㈱は2023年1月に「グッドキャリア企業アワード2022」で宮崎県内企業初の大賞(厚生労働大臣表彰)を受賞しました。その評価のポイントの一つが、この例会でご説明いただいた「子育てと仕事の両立」です。その直後の10/26には、宮崎市出身で盛心実践会<千葉>

代表世話人の扇山信二氏(ゼットエー㈱代表取締役)を囲んで歓迎会<ODEN dining 花歩>(宮崎市)>、11/2には滋賀敬愛塾一行9名をお迎えして歓迎会<「こい心みやうち」(都城市)>を行いました。そして、11/29 忘年例会<宮崎観光ホテル>では、宮崎市内在住の元オリンピックマラソンランナー谷口浩美氏(日南市出身⇒小林高校⇒日本体育大学⇒旭化成/1992年バルセロナオリンピック男子マラソンで金メダル候補と期待されていたものの給水地点で後続ランナーに足を踏まれ転倒。レース後半で順位を上げて8位入賞。)に急遽、特別講話をしていただき、一年を締めくくりました。

【2023年度活動記録】

以下、全国の盛和塾後継塾の動向にも触れながら、2023年度(第4期)の年間活動記録をご報告申し上げます。

■2月20日(月)～23日(木)宮古島・沖縄勉強会ツアー<参加者17名>

◇2/20 宮崎空港⇒那覇空港⇒宮古島空港

「島の駅みやこ」～「雪塩ミュージアム」～「郷屋はなれ」

合同例会:伊川秀樹(宮古島市副市長)、西里長治(㈱パラダイスプラン社長)

当銘誠(沖縄塾代表世話人/㈱琉球管理産業代表取締役)

西里泰徳(㈱パラダイスアメニティ社長)、西里直樹(㈱ファーストネット社長)

◇2/21 「いらぶ大橋海の駅」～「渡口の浜」～「通り池」～「17END」～「サウスアイランド」

「前浜ビーチ」～「来間大橋」～「竜宮城展望台」～「ユートピアファーム宮古島」

「地下ダム資料館」～「ムイガー湧水地」～「東平安名崎」～「美琉太陽」

◇2/22 宮古島空港⇒那覇空港 <自由行動>

◇2/23 首里城見学 那覇空港⇒宮崎空港

■3月29日(火) 第3期定時総会:ホテルメリージュ宮崎3階「鳳凰の間」(宮崎市)

18:00～19:00 講演「経営のこころ～社員の体験発表」

忽那 武範(くつな・たけのり)<元京セラ労働組合委員長/稲盛財団事務局長>

19:10～19:30 定時総会

19:45～21:30 会食懇談会

◇「2023九州・沖縄ブロック選考会」案内:森川 護

◇「グッドキャリア企業アワード2022」大賞受賞報告:津曲 慎哉

◇「宮古島・沖縄勉強会ツアー」報告:松葉 啓介

◇「危機管理普及啓発事業」紹介:藤川 寿治

◇「機関誌マラソン第4グループ」活動報告:森山 福一

◇「社会人野球硬式チーム“新海屋”奮戦記」報告:小川 裕介

◇「日本航空新サービスプラン」紹介:福岡 実恵

■4月27日(木)九州・沖縄地区ブロック選考会2023「城山ホテル鹿児島」(鹿児島市)

福岡・佐賀・大分・熊本・宮崎<福永栄子塾生(㈱アイロード代表取締役)>・鹿児島・沖縄各1名の計7名(長崎からは発表者ナシ)が経営体験発表。

審査の結果、鹿児島塾の小牧聖氏<㈱夢現代表取締役>、福岡塾の秋山二郎氏<㈱セイブ代表取締役>の2名を、世界大会出場候補者に選出。

■5月24日(水) 延岡例会(延岡市北浦町) <参加者13名>

延岡市北浦町の榊新海屋(小川裕介代表世話人が経営する海面養殖魚の加工販売会社)に集合し、工場や敷地内の各種施設見学。食堂併設の野球部寮にて、2022年3月に日本野球連盟に正式加入し新聞・テレビ等で大きく報じられている新海屋硬式野球部の活動内容・チームメンバー紹介、食品関連で海外展開を含め積極的に事業拡大を進めている現況と今後の展望等について小川社長の話を聞かせてもらった。また、小川社長操縦の漁船で宮崎県唯一の有人離島「島野浦島」に渡り、2022年3月に島唯一の飲食店として10数年ぶりにオープンした「満月食堂」を訪問。「島浦町地域おこし協力隊」の話を聞かせてもらい、メキシコ女王伝説の像も見ることができた。夜は「潮香ノ宿 高平屋」にて、硬式野球部監督・コーチを交え、新海屋持ち込みの刺身と霧島酒造持ち込みの焼酎を賞味しながら会食懇談。

■6月13日(火) 6月例会:「杉の子」(宮崎市)

17:00~18:00 DVD 視聴:塾長講話「感謝の心が運命を開く」(稲盛和夫)

2006年1月28日「何のために生きるのか」出版記念講演会(京都国際会館)

18:00~19:15 塾生講話

①「100周年に向けての“循環型商売”」 大山食品(株) 代表取締役 大山 憲一郎

②「最新の経済動向」 大和証券(株) 宮崎支店長 橋口 徹

19:30~21:30 会食懇談会

■7月11日(火) えびの例会「塾生企業巡りと京町温泉・地元食ツアー」<参加者18名>

「道の駅えびの」集合~「菅原水流神社パワースポット」~「矢岳高原展望台」~パラグライダー場「アサヒスタイルフリーロケ地」~ベルトンオートキャンプ場「セントラルハウス」(アイロードガーデン紹介)~「道の駅えびの」(途中参加者ピックアップ) 経由~「明石酒造」(会社説明、製造現場視察、商品紹介)~「えびの電子工業本社工場」(会社説明、開発部門・製造現場視察)~<希望コース別①温泉「十兵衛の湯」②観光「陣の池・木崎原合戦場」③「京町観光ホテル」休憩>~「いその家ハマダイニング」(会食懇談会:元塾生の「えびの電子工業(株)」津曲洋一会長も合流同席。会社設立操業に至る経緯や思い出話を語って頂いた。)

■8月24日(木) 8月例会:稲盛和夫氏一周忌にあたり「稲盛和夫元盛和塾塾長を偲ぶ」
ホテルメリージュ宮崎3階「鳳凰の間」(宮崎市)

17:00~18:30 DVD視聴

①「心を高める 経営を伸ばす 塾長と歩んだ36年」

②「稲盛哲学 学びと気づきのメモリアル」

③「ニッポンを変えた経営者たち“稲盛和夫”」

18:30~19:15 盛和塾の学びと稲盛塾長の思い出を語る

①「機関誌を通じた学びから得たもの」 機関誌マラソンリーダー 森山 福一

②「盛和塾の歩みと稲盛塾長の思い出」 RITA 塾宮崎 会長 江夏 拓三

19:30~21:30 会食懇談会

■10月12日(木) 10月例会 in 都城「焼酎の里 霧島ファクトリーガーデン」(都城市)

18:00~18:45 講演「フェムテラシーが持続的な地域社会を創る」

(株)ARCUS 代表 山元 幸代

【フェムテラシーFemteracy(Female+Technology+literacy)】

女性特有の健康課題を解決するために知っておきたい女性の体と心の健康に関する全般的な知識

19:00~21:00 会食懇談会

■11月13日(月) 第3回「心を高め経営を伸ばす世界大会」

(国立京都国際館) <京都市宝ヶ池>

【発表者】 Dojo RITAH(ハワイ): 樹神 太郎 / 盛和塾浙南(中国): 董 明 /
敬愛塾: 西口 泰宏 / フィロソフィ経営実践塾横浜: 穂積 輝明 /
盛心塾福井: 松井 一人 / 岡山師盛会: 万殿 貴志 /
盛心塾東京: 和田山 朋生 <以上7名>

※宮崎塾からは、神崎雄一郎夫妻(開会直前に身内の不幸連絡があり、急遽帰宮)、
松葉啓介、河野慎太郎(元宮崎塾生で現在は東京だが宮崎塾名で参加:本部了承)
の4名がリアル参加。森山副一、津曲慎哉、寺師博文の3名がアーカイブ参加。

※当日の**全国代表世話人会議**で下記の意見交換がなされたと後日報告あり。

◇新入塾生勧誘・定着について

勧誘部門を作っている / ホームページは必須、**勧誘チラシ**を作りたい / 入塾後のサポートが大切 / **オブザーバー参加**を広げ、気軽に勉強会・コンパを体験してもらおう / 塾の活性化のため、塾生数増は必須 / 帝国データバンク掲載企業に **DMと電話**で勧誘

◇運営方針・体制について

各委員の役割を明確化して、年間計画を立てている / **活動方針**が明確でないため、勉強会が面白くなくなってきた / 事務局負担軽減のため、**出欠確認のグループワーク・SNS、支払のネットバンキング**を活用 / 年会費を安くすると事務局設置困難、高くすると塾生減につながる / **会費の金額設定**が難しい / 事務局がないと世話人に負担がかかりすぎる / できれば、**事務局を設置・維持**できる塾生数まで増やしたい

◇本部機能について

本部はなくとも、**連絡網・情報発信・入塾案内**を担う部署が欲しい / 本部が作れないにしても**統一理念**を示して欲しい / **活動目的**がはっきりしていないので、勧誘しにくい / **全国の塾名を統一**して欲しい / **全国版ホームページ**があれば、各塾で無理してホームページを作る必要がなくなる

◇勉強会の充実について

DVD 講話の参加率が低い / 経営体験発表は取引関係が多く、**数字公開**しづらい / 一人学習の継続は難しいので、リアルで集まり**切磋琢磨**する場を守り続けたい

◇各塾の活動状況

参加率向上と学びを濃くするために**長時間・集中的な勉強会** / アメーバー経営は、経営状況によっては取り入れにくい場合があるので、塾歴が浅い人にもわかりやすいように**先輩塾生が解説** / 埼玉塾と旧群馬塾との**広域合体**によって交流範囲が広がり、学びが深まっている / レクリエーションに**ボクシング観戦**を取り込み、闘魂を学んでいる

■ 12月7日(木) 忘年例会:宮崎観光ホテル東館2階「紅の間」(宮崎市)

17:00~18:00 DVD 視聴:塾長講話「経営者に求められる3つの力」

<2006年11月26日 ニューヨーク塾長例会>

18:00~19:15 世界大会(2023年11月13日)アーカイブ視聴と視聴者感想発表

元塾生からのビデオレター:河野慎太郎(株オロ)From 東京

会長講話「人と風土が醸すもの」 RITA 塾宮崎 会長 江夏 拓三

19:30~21:30 会食懇談会

以上

2023年度収支決算(案)

2023年1月1日～12月31日

■収入の部

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1) 会費収入	2,280,000	2,155,000	-125,000	フル6万×35+中途入塾3万+2.5万=215.5万 昨年前納2名/退塾1名<現39名>
2) 会議費収入(例会等参加費)	900,000	657,100	-242,900	例会当日集金
3) 受取利息	20	24	4	
4) 雑収入	50,000	0	-50,000	
合 計	3,230,020	2,812,124	-417,896	

■支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1) 会議費				
定例会	1,800,000	1,795,667	-4,333	総会・例会:会場費+懇談会費補助
世話人会	400,000	60,500	-339,500	世話人会(入塾面談・会議・監査)負担金
世界大会	500,000	228,000	-272,000	参加費(リアル4名+アーカイブ3名)補助
小 計	2,700,000	2,084,167	-615,833	
2) 管理費				
旅費交通費	50,000	0	-50,000	
通信費	10,000	0	-10,000	
事務用品費	50,000	9,288	-40,712	塾封筒・名札フォルダ・バインダー・ファイル等
印刷費	50,000	0	-50,000	
新聞図書費	150,000	81,825	-68,175	書籍・DVD・日経BP年会費 稲盛ライブラリー・世界大会記誌
謝金	150,000	80,000	-70,000	講師謝金(例会講話)
事務局費	240,000	240,000	0	月額20,000円×12ヶ月(都城事務局)
支払手数料	5,000	5,610	610	口座振込手数料他
慶弔金	0	0	0	
雑費	10,000	0	-10,000	
小 計	715,000	416,723	-298,277	
3) 予備費				
予備費	200,000	0	-200,000	
合 計	3,615,000	2,500,890	-1,114,110	

収支合計	-384,980	311,234	696,214	
------	----------	---------	---------	--

期首・期末現預金	現 金	預 金	現預金合計	備 考
期首繰越金	219,433	1,743,519	1,962,952	2023.1.1(2022年度からの繰越金)
期中増減	134,682	176,552	311,234	2023年度収支
期末残高	354,115	1,920,071	2,274,186	2023.12.31(2024年度への繰越金)

監査報告書

2023年1月1日から同年12月31日までの2023年度決算書、並びに関係書類、証憑書類を閲覧し、必要事項について事務局責任者に聴取した結果、業務執行状況が適切であり、会計報告が正確であることを認めます。

2024年3月5日

監事

児玉寛太郎 

監事

中村吉寛 

第2号議案

2024年度事業計画(案)

■事業期間

第5期にあたる2024年度は、2024年1月1日～12月31日とします。

■定例会開催地の広域展開

定例会は原則的に毎月第2火曜日とし、旧盛和塾において培ったフィロソフィの学びをさらに深めるとともに、国内外で時代を先導する企業・経営者の経営理念やマーケティング理論に関する研究を加えるとともに、近年急激に進行するDX化・AI社会化や緊張感の高まる国際関係を踏まえた上で、新たな社会経済情勢下に於ける経営実践の方法論に関する勉強会としての内容充実に努めながら、塾生企業個々の職場環境改善と業績向上に資することを引き続き目指してまいります。

また、一昨年はコロナ感染状況に配慮しながら、10月に千葉塾、11月に滋賀塾の塾生をお迎えして交流会を開催、昨年も2月に「RITA塾宮古島勉強会ツアー」を実施したのを皮切りに、5月に延岡市、7月にえびの市、10月に都城市と、宮崎市以外での多地域開催を実現しております。本年はさらに綾・国富町、日南市、小林市、日向市など塾生企業所在地から候補地を選び、行動範囲を広げていくことを計画立案中です。

■全国の盛和塾後継塾との連携

2019年初頭から、長期にわたり企業活動や国民生活の足かせとなってきた新型コロナも漸く沈静化してきたことから、第1回(2021年)はオンライン限定開催とした世界大会も、第2回(2022年)以降はリアル・アーカイブのハイブリッド開催となっております。また、九州・沖縄地区では、昨年発足した代表世話人連絡会議を本年からは原則的に毎月オンライン開催することでスタートしており、情報共有化と地域連携の促進が期待できます。当塾としても、さらに積極的に全国各地の後継塾との密接な関係再構築を図り、講師の相互派遣や合同例会開催など広域連携交流事業の活性化に努めてまいります。

■2024年度スケジュール(案) <◎は日程・会場決定>

当塾例会については宮崎市以外の地域開催地を調整しながら決定していきます。

◎3/12(火) 第4期定時総会「ニューウェルシティ宮崎」(宮崎市)

◎5/9(木) 九州沖縄ブロック選考会「ホテル日航大分オアシスタワー」(大分市)

◇6/11(火) 6月例会

◇7/9(火) 7月例会

◇8/20(火) 8月例会

◎9/28(土) 西日本合同勉強会「稲盛会館/城山ホテル」<鹿児島市>

◎10/10(木) 10月例会 in 都城「霧島ファクトリーガーデン」<都城市>

◇11/12(火) 11月例会

◎12/4(水) 第4回世界大会「国立京都国際会館」<京都市宝ヶ池>

◇12/10(火) 忘年例会

以上

2024年度収支予算(案)

2024年1月1日～12月31日

■収入の部

科 目	2023決算	2024予算	増 減	備 考
1) 会費収入	2,155,000	2,400,000	245,000	年会費60,000円×年度通算会員数40名
2) 会議費収入(総会・例会・世界大会)	657,100	700,000	42,900	会合参加費(自己負担金)
3) 受取利息	24	24	0	
4) 雑収入	0		0	
合 計	2,812,124	3,100,024	287,900	

■支出の部

科 目	2023決算	2024予算	増 減	備 考
1) 会議費				
定例会	1,795,667	1,800,000	4,333	総会・例会・世話人会
勉強会・交流会	60,500	200,000	139,500	他塾交流会・自主勉強会・給水コンパ
世界大会	228,000	200,000	-28,000	
小 計	2,084,167	2,200,000	115,833	
2) 管理費				
旅費交通費	0	20,000	20,000	交通・運搬費/駐車場代金/宿泊費
通信費	0	500,000	500,000	HP制作・運営費
事務用品費	9,288	10,000	712	文具・ファイル、消耗品等
印刷費	0	20,000	20,000	
新聞図書費	81,825	100,000	18,175	盛和塾出版物・副読本・DVD・CD等
謝金	80,000	200,000	120,000	講師謝金(例会講話)
事務局費	240,000	240,000	0	月額20,000円
支払手数料	5,610	10,000	4,390	振込手数料他
慶弔金	0	10,000	10,000	
雑費	0	10,000	10,000	
小 計	416,723	1,120,000	703,277	
3) 予備費				
予備費	0	50,000	50,000	
合 計	2,500,890	3,370,000	869,110	

収支合計	311,234	-269,976	-581,210	
-------------	----------------	-----------------	-----------------	--

期首・期末現預金	現 金	預 金	現預金合計	備 考
期首繰越金	354,115	1,920,071	2,274,186	2024.1.1(2023年度からの繰越金)
期中増減			-269,976	2024年度収支見込み
期末残高			2,004,210	2024.12.31(2025年度への繰越金)

2024年度(2024.1.1~12.31)役員構成(案)

<各項、氏名50音順>

役員	氏名	会社名	会社役職	ブロック
会長	江夏 拓三	霧島ホールディングス(株)	代表取締役専務	県西(都城)
顧問	神崎 義世	神崎建設工業(株)	会長	県央(宮崎)
	木村 健一	木村産業(株)	代表取締役社長	県北(延岡)
代表世話人	江夏 徳次郎	B T V (株)	代表取締役専務	県西(都城)
	大山 憲一郎	大山食品(株)	代表取締役	県央(綾町)
	小川 裕介	(株)新海屋	代表取締役	県北(延岡)
世話人	江夏 祥一郎	江夏石油(株)	代表取締役社長	県西(都城)
	神崎 雄一郎	神崎建設工業(株)	代表取締役社長	県央(宮崎)
	児玉 寛太郎 (監事)	大和物産(株)	代表取締役社長	県西(都城)
	徳永 達彦	合名会社 徳永商店	代表社員	県央(宮崎)
	中村 吉寛 (監事)	(有)都城金海堂	代表取締役社長	県西(都城)
事務局長	森川 護	B T V (株)	社長室長	県西(都城)

設立総会以降、コロナ禍等で役員改選を行っていないため、今期も現体制でスタートさせていただきます。ただし今会期中に世話人会を開催して人選し、新体制案が固まり次第、塾生全員に文書にてご承認をお願いすることと致しますので、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

【事務局】

BTV株式会社内

〒885-0071 宮崎県宮崎市中町1街区7号

TEL.0986-27-1700 FAX.0986-27-1600

E-mail:m-morikawa@btvm.co.jp

携帯電話 090-7530-1777(森川)

稲盛和夫が即答した「人生で一番大事なもの」

2023年8月24日 「致知」出版社取材メモ<2017.11.17>より



稲盛和夫氏。たぐいまれな経営手腕と哲学を通じ、産業界のみならず広く市井の人にまで感化を与えた日本を代表する経営者がお亡くなりになりました。

稲盛氏は京セラやKDDIを創業し、それぞれ1.5兆円、4.9兆円を超える大企業に育成。

倒産したJALの会長に就任すると、僅か2年8か月で再上場へと導きました。

功績はそれだけに留まりません。中小企業経営者の勉強会「盛和塾」の塾長を務めた他、日本発の国際賞「京都賞」を創設し、人類社会に多大な貢献をもたらした人物の顕彰にも尽力されました。その多岐にわたる活動に通底しているもの。それは「利他の心」でした。

“新・経営の神様、の呼び声高い氏が明かした「人生で一番大切なもの」とは――。

「新・経営の神様」からいま私たちが学ぶべきこと

2017年11月27日、京都市内にある稲盛財団の一室で待機していると、約束の時間より10分早く、稲盛和夫さんは姿を現しました。与えられた取材時間は1時間。ご体調があまり芳しくないとの理由で広報の方から事前にそう伝えられていました。ところが、どうでしょう。本誌編集長(当時:藤尾秀昭)が質問を発するごとに、どんどん稲盛さんの表情がほぐれ、生気が漲り、時には満面の笑みを、時には真剣に質問の答えを考えられる仕草を見せられ、実際には1時間15分に及ぶ白熱の取材となったのです。広報の方が「取材でこんなに笑顔の稲盛を見たのは久しぶりです」と驚嘆するほどでした。

そこで語られた内容は、京都賞を創設した理由、京都賞受賞者の共通点に始まり、松風工業での修業時代の日々、そこでの転機と心掛け、京セラ創業のドラマ、経営理念に込めた思い、さらには、働くことの大切さ、盛和塾で訴えかけていること、KDDI創業のいきさつと成功秘話、JALを奇跡の再生に導いた鍵など、稲盛さんの生き方、働き方、考え方のエッセンスをまさに凝縮したもの。「新・経営の神様」の異名を取る稲盛さんから、いま、私たちが学ぶべきこととは何でしょうか。

仕事の不平不満を消し去る唯一の方法

稲盛さんは京セラの創業者であり、経営破綻に陥った日本航空を僅か2年8か月で再上場に導いた名経営者です。その稲盛さんが新卒で入社した会社はスト続きで給料は遅配。嫌気がさした稲盛さんは自衛隊に転職しようしますが、実兄の反対を受け、そのまま会社に止まりました。鬱々とした日が続きました。会社から寮への帰り道、「故郷」を歌うと思わず涙がこぼれたといいます。

こぼれた涙を拭いて、「こんな生活をしていても仕方がない」と稲盛さんは思い直します。自分は素晴らしい会社に勤めているのだ、素晴らしい仕事をしているのだ、と思うことにしたのです。無理矢理そう思い込み、仕事に励みました。すると不思議なもので、あれほど嫌だった会社が好きになり、仕事が面白くなって来たではありませんか。通勤の時間が惜しくなり、布団や鍋釜を工場に持ち込み、寝泊まりして仕事に打ち込むようになります。仕事が楽しくてならなくなったのです。そのうちに一つの部署のリーダーを任せられ、赤字続きの会社で唯一黒字を出す部門にまで成長させました。

新卒社員の3割が3年以内に離職すると言われて久しいのですが、稲盛さんは当時のご自身の体験を踏まえて、こう言います。

「いまの若い人たちの中に、自分が望んでいる道を選ぶことができなかった人がいたとしても、いまある目の前の仕事に脇目も振らず、全身全霊を懸けることによって、必ずや新しい世界が展開していくことを理解してほしいですね。ですから、不平不満を漏らさず、いま自分がやらなければならない仕事に一所懸命打ち込んでいただきたい。それが人生を輝かしいものにしていく唯一の方法と言っても過言ではありません」

これこそまさに稲盛流成功哲学の要諦と言えるでしょう。



人生で一番大事なものは何か

稲盛さんが最後に語られた言葉もまた忘れられません。
取材の締め括りに、「今日まで86年間歩いてこられて、人生で一番大事なものは何だと感じられていますか？」と質問したところ、稲盛さんは間を置かず即座に、なおかつ熱を込めて、次のように答えられました。

「やっぱり人生で一番大事なものというのは、1つは、どんな環境にあろうとも真面目に一所懸命生きること。それともう1つは、人間は常に『自分がよくなりたい』という思いを本能として持っていますけれども、やはり利他の心、皆を幸せにしてあげたいということを強く自分に意識して、それを心の中に描いて生きていくことです」

私たちがこの2つの条件を満たすべく、自己研鑽に努めていきたいものです。



稲盛和夫 (いなもり・かずお)

1932年鹿児島県生まれ。鹿児島大学工学部卒業。1959年京都セラミック(現・京セラ)設立。社長・会長を経て1997年より名誉会長。1984年には第二電電(現・KDDI)を設立、会長に就任、1997年より最高顧問。2011年には日本航空会長に就任し、2016年より名誉顧問。1984年に稲盛財団を設立し、「京都賞」を創設。毎年、人類社会の進歩発展に功績のあった方々を顕彰している。また、若手経営者のための経営塾「盛和塾」の塾長として、後進の育成に心血を注ぐ。著書は『人生と経営』『成功と「失敗」の法則』『成功の要諦』『致知新書 何のために生きるのか』『稲盛和夫一日一言』(いずれも致知出版社)など多数。

経営の原点「稲盛経営 12 カ条」

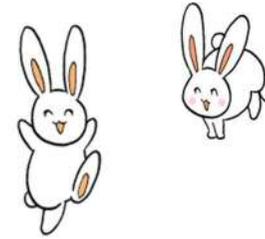
1. 事業の目的、意義を明確にする
2. 具体的な目標を立てる
3. 強烈な願望を心に抱く
4. 誰にも負けない努力をする
5. 売上を最大限に伸ばし、経費を最小限に抑える
6. 値決めは経営
7. 経営は強い意志で決まる
8. 燃える闘魂
9. 勇気をもって事に当たる
10. 常に創造的な仕事をする
11. 思いやりの心で誠実に
12. 常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて素直な心で

【出展】 稲盛 和夫 OFFICIAL SITE:京セラとKDDI、JALを経営する中で、
会社経営を成功に導く実践項目を 12 カ条にまとめたものです。

心を高める、経営を伸ばす

困難に打ち勝つために：希望を失わない

今でこそ私は、「心で思った通りに現象は現われる」と信じているのですが、社会人となった頃は、やることなすことうまくいかず、とてもそのようには考えられませんでした。しかし、そんな苦しい中でも私は明るさと希望だけは失いませんでした。そのころ私は、床が抜けそうなオンボロ寮の二階に住んでいました。畳の表も裏もなく、わらがぼうぼうとむき出しの六畳間でした。そこに七輪と鍋を持って来て、毎日自分で炊事をしていました。会社での研究も人間関係もうまくいかず、日が暮れると寮の裏の桜並木が続く小川へ一人で出かけていきました。そして、小川のほとりに腰かけて、唱歌の「ふるさと」をよく歌ったものでした。心の痛みが積もり積もって、どうにもならなかったのです。私は思いきり歌うことで、自分を元気づけていたのです。そして気分を一新して、次の日にはまた会社へ出かけて懸命に働きました。悩みは、いつでも、誰にでも、どこにもあります。しかし、そういう状況の中でも、気分転換を図り、明日への希望と明るさだけは失わないようにしなければなりません。



故郷（ふるさと）

兎（うさぎ）追いし かの山

小鮒（こぶな）釣りし かの川

夢は今も めぐりて

忘れがたき 故郷（ふるさと）

如何（いか）に在（い）ます 父母

恙（つつが）なしや 友がき

雨に風につけても

思い出（い）ずる 故郷

志（こころざし）を はたして

いつの日にか 帰らん

山は青き 故郷

水は清き 故郷